

知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会 第11回 策定協議会議事録〈要旨〉

日時：平成21年2月6日（金）14:00～15:40

開催場所：知立市役所 現業棟2階 第10会議室

出席者：委員8名（欠席者4名）、事務局7名

〈議事次第〉

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告事項
 - 1) 第10回策定協議会議事録の確認
 - 2) UD重点整備地区詳細調査（知立のまち調査探検ツアー）について
4. 協議事項
 - 1) 知立市UDガイドラインについて
 - 2) 知立市UD推進計画(案)について
 - 3) 知立市UD重点整備地区整備計画について
 - 4) その他
5. その他
6. 閉会

〈挨拶〉

事務局：知立市では市長が変わり、色々な変化が出ている。UDは基本計画を元に実施する。特に駅前でUDを進めたいが多く、時間と費用がいるため、啓発に重点を置き、実施に繋げていく。

〈報告事項概要〉

◆ 1) 第10回策定協議会議事録の確認

事務局：資料1が前回協議会の議事録。

◆ 2) UD重点整備地区詳細調査（知立のまち調査探検ツアー）について

事務局：8/29、9/1、9/5、9/6の4日間に渡り、市民公募者に兼子委員を交え、専用のベストを着て啓発活動も兼ねつつチェックリストを使用して街を見てもらった。9/1の日刊広報と、11/1の広報に記事を載せた。資料5-2に詳しい内容が載っている。また、知立市福祉健康まつりで、パネルやUD商品の展示を行った。

藤澤委員：夜の電灯が暗いというのはUDに入っていないのか。暗いとちょっとした段差でも危険。

事務局：夕方の調査は行った。完全に暗いと他の事が確認出来なくなってしまう。

藤澤委員：商店街の街路灯は各商店も負担している。店が減ると街路灯も減り、ますます寂れてしまう。

野崎会長：駅前広場はどうですか？

藤澤委員：駅前広場は知立市の他の場所に比べて明るいと思う。街路灯が減っているのではないか。

事務局：減ってはいないが、商店街が寂れることで暗くなった感じがする。駅前広場にたっている水銀灯は減らしていないし、消してもいない。発展会が付けていた水銀灯も店舗が減ると消え、暗くなってしまう。現状で市内は街路灯と防犯灯、水銀灯の3種類で明るくしている。段差の多いところは照明灯がもう少しあった方がいいと思う。

兼子委員：青色照明はどうか。テレビでは科学的な根拠はなく、照度が下がるといっていたが。

事務局：青色防犯灯は広島で感情が抑えられ、犯罪が減るとして設置したそうだが数値は知らない。

杉山委員：実際に検挙しないと犯罪は減らない。

〈協議事項概要〉

◆ 1) 知立市UDガイドラインについて

事務局：ガイドラインは現状のものに修正を行い、今年度中に完成させる予定。チェックリストは国土交通省の道路と都市公園のガイドラインに沿って修正している。第1章の修正については、方策という表現だったところをプロセスに変更し、以前はプロセス4以降が重点整備地区詳細調査等で検証し、推進計画で行う形になっていたのをガイドラインで完結するようにした。検証事業については市役所の点検を2月に行うのを最後にする予定。

◆ 2) 知立市UD推進計画(案)について

事務局：2部構成になっており、第1部が推進計画、第2部が重点整備地区整備計画となっている。計画の期間は平成30年を最終年として、平成25年を中間年としている。計画対象は知立市全域、事業によっては重点整備地区を対象とする。理念と基本目標は基本計画と同様。施策の各論は各課に実施可能な事業を確認し、基本目標ごとに体系づけた。委員の皆様の意見も反映して作成した。ただし、各課からの承認はまだもらっていない。今後、UD推進計画策定協議会は無くなるが、事務局は都市計画課が引き続き行い、人にやさしい街づくり推進協議会へ報告していく。市民へは意見募集や、行事があれば参加してもらうことを考えている。

藤澤委員：将来的に、建築確認申請を出す場合はこれをクリアしてもらうようになるのか。

事務局：今は考えていない。考え方が浸透してから条例に持っていく形になる。時期がいつかまでは明言出来ない。愛知県の条例に関しては愛知県下全体で内容に沿うように進めている。

兼子委員：ブロック塀を垣根に変えると補助を出すという話、あれは道路に沿ってないとダメなのか。

事務局：あれは地震の時などの安全確保のため、道路沿いのブロックを垣根に変える場合のもの。

高木委員：手すり等に補助を出す際に、対応する課の職員がどういう手すりがいいかの提案ができるようにならないか。また、書類を見やすくして欲しい。あまり厚いと読むのが辛い。

事務局：分かりやすいパンフレットを作り啓発活動に努める。市は条例などでないと強制できないが、現状で強制しては反発を受けるので、ガイドラインが浸透してから条例の策定を行う。

◆ 3) 知立市UD重点整備地区整備計画について

事務局：推進計画は事業の方向性を示す事に止めた。重点整備地区の詳細調査とアンケートの結果を元に策定する。詳細調査は2月に市役所の点検で終了。各論は5項目に体系づけている。

倉地委員：駅前市営駐車場は、障害者の方にとって使いにくそうだがどうか。

事務局：現状の改善案はない。初めからならともかく、途中で改築するのは難しい。

◆ 4) その他

藤澤委員：啓蒙運動に使うのであればパッと見てわかるようにしないと。漫画にしてはどうか。

高木委員：広報に一枚ずつ入れたりしてはどうか。BFをUDと思っている人がいる。

事務局：シリーズを作って広報に載せたい。まずは知って頂く。作ってOKでは無く、その後が重要。

野崎会長：教えるためには、分かりやすい教科書と説明が必要。説明する場を用意した方がよい。行政の方が理解して説明する方が良いと思う。探検ツアーでの意見交換はどうだったのか。

事務局：最終日にリリオで行った。それまでの意見を紹介した後、意見交換を行いまとめた。また、中部大の磯部先生に話を頂いた。市の職員の理解を進めると共に興味をそそるようにしむける。本計画を始めた当初は刈谷市はまだだったが、刈谷駅南のビルにUR都市機構が入ってUDになったのは聞いた。知立市は手がけ自体は早いと思うが、示す物がない。

高木委員：UDについてアドバイスのできる人がいるようになって欲しい。

野崎会長：知立は住宅改修の補助はしているのか。

事務局：住宅改修の補助はしている。

倉地委員：駅前市営駐車場のトイレは改修できるか。

事務局：構造上の問題で無理。区画整理で駐車場から東のエリアを再開発するのでそこで行う。

倉地委員：駅から降りて直ぐにアーチ上の看板とトイレを作り、立体交差の看板を書き換えてはどうか。2年も会議を重ねているだけになっている。何かをしたい。HPも欲しい。

事務局：事務局も上の方には提案しているのだが、動くに動けない。ジレンマは感じている。知立市UD基本計画のHPは作ってある。市のHPは一応UD仕様で、文字サイズの変更などではできる。また、時々担当者へUDについて相談があり、先日はカキツバタ園の多目的トイレについて相談を受けた。フル装備したものを整備することになったので見に行ってみて欲しい。

五味委員：多目的トイレにベッドはあるか。

事務局：ある。ベビーベッドではなく、折りたたみの大人用ベッドがついている。

杉山委員：大人用ベッドがあると、浮浪者が住み着くのが怖い。

事務局：問題点が多く公園に大人用のベッドを設置するのは、難しい。

藤澤委員：柴田さんが老人ホームへ講演にいったらどうか。

事務局：推進計画の中に出前講座の実施もあるので、依頼があれば行く。

高木委員：柴田さんがベストを毎日着てはどうか。中央公民館の改修で、トイレはどうなったのか。

事務局：中央公民館のトイレは構造上の都合によりベッドは無理だが、オストメイトはついた。

五味委員：コロニーでは引き出すベッドが設置されている。あれなら場所もとらないのでどうか。

事務局：こちらもいい機会だと思い、色々話しているが、担当部局にも都合があり上手くは進まない。

野崎会長：啓蒙活動は駅等の象徴的な物だけでなく、個人の住宅からも進めたり、こちらから出向いてはどうか。子供にはUDという名前からよりも、困る所を見せた方が良いのではないかと。

<その他>

藤澤委員：キャッチにも協力してもらい、市営駐車場のウィンドウに大型テレビを設置して企業のPR等に使おうかと考えている。バックに東海道53次の絵を入れるつもり。また連絡する。

事務局：市営駐車場の便所もどうかしたい。初めから大きくないとUDにできないのが辛い。

兼子委員：小松寺の後の所、できるまで20年くらいかかるのなら、その間だけでもどうかかならんか。

藤澤委員：色々な意見がでるが、大抵、最終的には金と維持管理が問題になる。

<閉会>

事務局：次回は3/19の木曜日、13:30にここで行う。推進計画の最終案を示す。意見があれば、電話でもFAXでも良いので2/20までに連絡を頂ければ反映できる。また、委員の交代があり、名鉄バスの森岡委員が白石委員になった。